



ひろしまを考える旅 2018

本当に知っていますか？

～広島・ヒロシマ・広島～

募集要項

2018年8月9日(木)～11日(土・休)@広島市文化交流会館



日本全国の中高大学生を中心に幅広い世代・留学生・中国と韓国からの参加者を迎え、被爆証言・フィールドワーク・碑めぐり・交流会・ワークショップなどを通して、広島で平和について考えるプログラムです。

今年の旅のテーマは「本当に知っていますか？～広島・ヒロシマ・広島～」です。広島はかつて軍都広島として日本のアジア侵略における重要な役割を担っていました。そして、広島は核兵器が使用された土地としてのヒロシマとしての歴史もあります。そのような歴史を持つ広島はその歴史を持つからこそ、人々に平和について考えさせるひろしまでもあります。そのような土地でみなさんと一緒に、広島の〈過去〉〈現在〉〈未来〉を考えていきたいと思ひます。

主催：公益財団法人日本YWCA

協力：一般財団法人広島YWCA 一般財団法人呉YWCA

【期間】 2018年8月9日(木)～11日(土・休) *オプションツアー参加者は12日(日)

【会場】 集合・会場・宿泊: 広島市文化交流会館(〒730-0812 広島県広島市中区加古町 3-3)

【スケジュール】

8月9日(木)	8月10日(金)	8月11日(土)	8月12日(日)
<12:30 現地集合> 13:00 開会 13:45～14:30 ワークショップ1 14:45～16:15 広島平和記念資料館見学 16:30～碑めぐり 17:45 ホテル帰着 18:00 夕食 19:00 ワークショップ2&交流会 20:45 FWオリエンテーション および、全体説明	7:00 朝食 8:00～グループごとに出発 (コースによって出発時間は異なります) 14:30 ホテル帰着 15:30 被爆証言 17:45 夕食 18:30 ワークショップ3 20:30 タベの祈り 20:45 翌日のオプションツアー オリエンテーション	7:00 朝食 ～8:30 2泊3日参加者は 各自チェックアウト 8:30～ワークショップ4 10:30 想いを伝える 11:30 閉会 12:00 *2泊3日参加者解散 12:00 *3泊4日参加者昼食 12:30 オプションツアー出発 1 世界遺産 宮島を楽しむ 2 岩国を訪ねる 20:00 ホテルへ帰着	7:00 朝食 ～9:00 3泊4日参加者各自 チェックアウト⇒解散

1. 広島平和記念資料館見学:原爆による広島の惨状をあらわしたパネルや地図・人々の遺品・建物の残骸などが展示されています。希望者にはガイドが案内します。

2. フィールドワーク:広島市内を歩き、「広島」「ヒロシマ」「広島」と3つの顔を持つ、ひろしまについて学びます。次の5コースからご希望をお知らせください。

① 広島城周辺市内コース

広島城を中心とする地域には、日本軍の重要な施設が置かれていました。広島被爆の第一報を発した陸軍の司令部地下壕跡・大本営跡(戦争の時に指揮を行う中枢部)をめぐる。なぜ広島に原爆が落とされることになったのか、考えてみましょう。また、原爆詩人として有名な栗原貞子さんの詩碑を訪ねます。

●コース: 広島通信病院旧外来棟被爆資料室、陸軍幼年学校門柱、歩兵第十一聯隊碑、大本営跡、陸軍中国軍管区司令部地下通信室、他

② 中高生が伝えるひろしまコース

アメリカの教会の友情と祈りによって発展してきたキリスト教学校である広島女学院は、同じアメリカの落とした原子爆弾によって、すべての施設と生徒・教職員 350 余名の尊い命を失いました。そのうち最も多くの犠牲を出したのが、一番年下の高等女学校 1・2 年生(現在の中学 1・2 年生)でした。なぜだと思いませんか? 広島女学院ではこの被爆体験を原点とした平和活動が盛んです。このコースでは現在、広島女学院に学ぶ中高生が自分たちの視点から校内の慰霊碑の案内や平和活動の紹介をします。

●コース: 広島女学院中高生による学校内外の慰霊碑等の案内、被爆体験・平和活動の紹介・交流、他

③ 『夏の花』(原民喜著)を歩くひろしまコース

「原子爆弾の惨劇のなかに生き残った私は、その時から私も、私の文学も、何ものかに激しく弾き出された。この眼で視た生々しい光景こそは死んでも描きとめておきたかった。…」詩人で、現代日本文学のもっとも美しい散文家のひとりとも評される原民喜。『夏の花』に書き残された原爆被災時の足取りをたどります。

●コース: 原民喜の生家(幟町)、京橋川の土手(被爆柳)、栄橋・縮景園、東照宮、世界平和記念聖堂、他

④ 韓国・朝鮮人被爆者の歩みコース

あの日被爆したのは日本人だけだったのでしょうか？いえ、実は多くの外国人の方々も被爆しています。強制労働を課せられ、連れてこられた方々が、当時の広島にはたくさんおられました。また、日本に植民地化された祖国を出て、成功を夢見て自ら日本に来られた方々も。

そんな中、なぜ朝鮮半島の人々が、被爆しなければならなかったのでしょうか、そして、被爆後どうなったのでしょうか？ 皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

●コース：広島キリスト教社会館、他

⑤ 呉市の過去から現在・未来を見通すコース

日本に暮らす私たちは、現在も未来も本当に平和なののでしょうか？ このコースでは、呉市内に残る戦跡（地下工場跡、戦艦大和建造ドッグ跡、海軍工廠跡）をめぐりながら、私たちの日本が未来をどのようにデザインしているか、また、私たちのような市民が（子どもおとなも）、そして故国から連れてこられた人々（強制連行で、または仕事を求めて）がどのような生活を強いられたかを感じ、考えます。現在の海上自衛隊呉基地を俯瞰し、日本はどこへ向かっているのかをご一緒に考えてみましょう。基地のない街に暮らしていると決して見えない、感じられない日本の行く末を見ることができると思います。

●コース：大浦崎公園、潜水艦基地、歴史の見える丘、他

3. 被爆証言：江種祐司（えぐさゆうじ）さん 学徒動員先の金輪島で被爆。その後避難者の救護活動をされました。

4. 碑めぐり：原爆ドーム、原爆供養塔、韓国人原爆犠牲者慰霊碑などを巡ります。

5. ワークショップ1～4：話を聞いたり、資料館を見学したりして考え感じたことを、グループの人たちと分かち合い、深めるワークショップをします。あわせて、2泊3日の体験・学び・思いを分かち合い、日常に戻った時に周りの人たちにどう伝えていくかを考えましょう。

【オプションツアー】

オプションツアー参加の方は3泊4日となります。次の2コースの内、ご希望のコースにご参加いただけます。

① 「世界遺産 宮島を楽しむ」

厳島神社をはじめ、五重の塔などの寺院をめぐり、ゆったり過ごす自由時間です。夜は市内に戻り、広島名物お好み焼きを楽しみます。【先着30名まで】

② 「岩国の米軍基地を訪ねる」

岩国は広島からJR在来線で約50分ほど、山口県の東端に位置し、毛利氏の一翼を担った吉川氏の居城がある歴史的な街です。一方で、現在の岩国中心部の1/3はアメリカ海兵隊と海上自衛隊の航空基地が占めています。2012年には米軍の最新鋭輸送機オスプレイが強行搬入され、以降低空飛行訓練が実施されています。基地の存在が市民生活に及ぼす影響について、一緒に感じ、考えましょう。夕食は広島名物お好み焼きを楽しみます。

【海外からの参加者】

* 韓国・中国のYWCAからの参加者

* 日本国内で学んでいる留学生

【対象】 中学校1年生相当年齢以上、このプログラムに関心のある方ならどなたでも。

* 炎天下を歩くプログラムが含まれます。体調等を考慮の上、お申し込みください。

【定員】 80名（申込順、定員に達しましたら締め切ります）

【参加費】 *参加費のうち 5,000 円は申込金となります。

- **中学・高校生** 2泊3日 22,000 円(広島県在住で宿泊不要の方の場合 2泊3日 ¥11,000)
オプション参加 3泊4日 32,000 円
- **大学生・大学院生** 2泊3日 25,000 円(広島県在住で宿泊不要の方の場合 2泊3日 ¥15,000)
オプション参加 3泊4日 36,000 円
- **一般** 2泊3日 30,000 円(広島県在住で宿泊不要の方の場合 2泊3日 ¥20,000)
オプション参加 3泊4日 40,000 円

注1) 参加費には、プログラム費・宿泊費・食費・フィールドワーク交通費・保険料が含まれます。

注2) 参加費には広島までの交通費は含まれません。



【申込方法】

- ① 申込書を FAX・郵送またはメールで日本 YWCA までお送りください。
- ② 申込締切:2018 年 7 月 9 日(月)
- ③ 参加費は全額一括で、7 月 20 日(金)までに郵便振替でお振込ください。
郵便振替番号:00170-7-23723 公益財団法人日本YWCA
※振込通信欄に「ひろしまを考える旅参加費」とご記入ください。
- ④ キャンセルについて
* 7 月 31 日(火)までのキャンセルは申込金(5,000 円)を除いた参加費を返却いたします。
* 8 月 1 日(水)以降のキャンセルは返金できません。

参加費補助制度(留学生対象)があります

- * 日本に滞在する留学生の参加費を 1 万円補助いたします。
- * 定員 5 名(申込順)

詳細は以下までお問い合わせください。



【問合せ・申込書送付先】

公益財団法人日本YWCA(担当:幕谷・臼井)

101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11 東京YWCA会館 302 号室
tel: 03-3292-6121 fax: 03-3292-6122 e-mail:office-japan@ywca.or.jp

ウェブサイト <http://www.ywca.or.jp/>
フェイスブック <https://www.facebook.com/YWCAJapan>
メールマガジン y-net@ywca.or.jp